

# やまがた 議会だより

令和元年7月

No. 129

- ・令和元年 最初の定例会 2ページ
- ・一般質問の要約 3ページ～6ページ
- ・議会常任委員会だより 6ページ
- ・頑張れ!!地域づくり協力隊の皆さん 7ページ
- ・キャッチボール「私の一言」 8ページ

## 6/28 小学校4年生 学校林整備活動

「間伐作業を通して、学校林に親しみ、樹林の大切さと郷土を思う心を育てます」  
を目的に林業委員・地域ボランティアの皆さんの指導により進められた。

**令和元年の議会が始まった**  
消費税・人事異動などによる  
条例の改正と補正予算が提出された

**令和元年度  
第2回議会定例会**

第2回定例会を6月5日に開会し、6月14日まで10日間開催した。  
議案13件、請願1件、陳情2件を審議のうえ可決し、他の陳情2件は継続審議とした。  
一般質問は6日・7日に10人が登壇し、村政全般について質問を行なった。

**議案**

- 山形村介護保険条例の一部を改正する条例について
- 山形村清水高原簡易水道条例の一部を改正する条例について
- 山形村水道事業給水条例の一部を改正する条例について
- 山形村下水道条例の一部を改正する条例について
- 令和元年度山形村一般会計補正予算
- 令和元年度山形村国民健康保険特別会計補正予算
- 令和元年度山形村介護保険特別会計補正予算
- 令和元年度山形村水道事業会計補正予算
- 清水高原交流施設他5施設（スカイランド きよみず他）の指定管理者の指定

【指定の相手先 株式会社 ドリームホテル】

**報告**

○平成30年度山形村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

**主な事業等補正予算**

\*給料・職員手当等を除く

**総務費**

- 防災諸費 71万3千円
- 地域防災計画修正業務委託料 108万8千円
- 参議院議員選挙費

**民生費**

- 社会福祉総務費 34万9千円
- 自立支援事業電算委託料
- 保健福祉センター費 160万3千円
- 備品購入費（入浴施設）
- 保育園費 157万円
- 空調設備設置工事（エアコン）

**衛生費**

- 予防費 電算委託料 54万9千円
- 母子衛生費 養育医療給付費 108万円

**土木費**

- 道路新設改良費 91万8千円
- 登記測量委託料 82万5千円
- 道路新設改良、舗装新設工事土地購入費

**消防費**

- 非常備消防費 137万7千円
- 退職報奨金 285万4千円
- 消耗品費（雨具）

**教育費**

- 給食運営費 69万5千円
- 給食関係備品購入費
- 農業者トレーニングセンター費 34万2千円
- 農業者トレーニンングセンター費 28万円
- 庁用備品購入費
- 修繕費

**水道事業費**

- 排水及給水費 漏水調査 60万円
- 工事の発注状況
- 山形村農業者トレーニングセンター 106万3千円
- 電気設備改修工事

**（請願・陳情）**

- 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
  - 「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書
  - 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- それぞれ、意見書を国に提出するものとした。



## 一般質問

議員10人が

# 村政を問う

6月定例会の一般質問は、6日・7日に10人が21件を行ないました。

質問議員が要約したものを掲載いたします。

### 一般質問とは

一般質問は、村が行なうすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみ、臨時会ではできません。



清水高原の

### 休眠施設の活用を

百瀬昇一議員

村長 清水高原の活性化のために改善策を検討する

Q 清水高原観光開発の最終結果はどうか。また、現状は。

A 別荘地は225区画、現在106区画に建物があある。観光道路は村道一級6号線、総延長7.6km、村の幹線道路となっている。今は清水高原への観光のアクセス道路としてだけでなく、防災面でも大変大事な道路である。日々の道路安全パトロールの実施、道路の環境整備、迅速な除雪体制等を整えている。

### ● 質問時間は60分

山形村では、議員が質問できる時間は答弁を含めて一人60分以内です。

### ● 一問一答方式

質問は、一つ質問して一つの回答を得る一問一答方式です。より問題を深められる方法とされています。

### ● 事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。

Q 清水高原を村民がもっと集える場所に、教育の観点からの活動、事業ができないか。

A 平成29年度から小学校の教育課程の中にふるさと学習を位置づけ、児童が主体的に地域資源を学ぶ取り組みを進めている。社会教育では、地域資源を学ぶ講座を公民館事業等により行なっている。

清水高原の自然や文化財を地域の大切な資源として再認識の上、新たな活動、事業に結びつけられる課題を見出ししていきたい。

その他、「山形村の地域コミュニティに係る検討委員会の進捗状況と今後の進め方」について質問した。



### 交通弱者が増加するが どのように対応するのか

新居禎三議員

村長 将来の在り方を新たな組織で検討する

Q 高齢者の運転免許証を自主返納する方が増えているが、村としてはどのように対応するか。

A 検討していかねばいけない問題だ。現在は公共交通の維持改善や福祉バスの運行に力を入れているが、今後は奨励金制度など事業実施に向けて研究していきたい。

Q 高校生などの塩尻方面への通学の利便向上はどのように考えているか。

A 村を通る既存路線の維持を最優先に考えて運賃助成を行なっているが、利用促進効果を検証し、他の公共交通についても考えていきたい。本年度は、将来の公共交通の在り方について、新しい組織を設置する予定である。

Q 公共交通の利便向上には、近隣市村との連携が必要だが、どのような対応をするか。

A 現在「松本地域公共交通情報交換会」「松本地域における公共交通に関する意見交換会」に参加している。さらに利用しやすい方策を広域的に情報共有、連携しネットワークについて検討したい。



## なろう原霊園に 新たな整備を

春日 仁議員

村長 合葬墓や樹木葬などの施設整備は数年

前から要望も含めて話題になっている

Q なろう原霊園の利用状況は。

A 総数は507区画あり、購入されているのは165区画。そのうち、墓があるのは127区画である。

Q 今後の利用見通しは、どう考えているか。

A これからの需要が著しく伸びていくというようなことは、考えにくいものと推測される。

Q 合葬墓や樹木葬などの施設整備はどう考えるか。

A 近隣では、比較的先行していた松本市に加え、塩尻市や安曇野市でも最近になって合葬墓が整備された。

山形村としての方向性を判断していくために、先進事例を研究し、整備から運営・維持管理・利用者負担の程度など総合的な検討をする材料を集める作業に手を付け始めた。

その他、「交通事故防止の対策は」について質問した。



## 高齢者の自動車運転免許証 自主返納への対応は

小出敏裕議員

村長 高齢者の自動車運転免許証自主返納件

数が増加しているので対応を研究していきたい

Q 自動車運転免許証を自主返納した高齢者への移動手段を福祉バスやコミュニティバス以外で構築する考えはあるか。

A 福祉バスの運用は今後工夫する部分もあるが、現状で村内のほぼ全域をカバーしているため、新たな移動手段は考えていない。



## 村内防犯灯「全面LED化」 に向けて

大月民夫議員

村長 修繕の手配・工事費用は村業務に移行

村内防犯灯の全面LED化に向けた工事が2019年度事業として進められている。完了後の維持管理等を伺う。

Q この事業の推進計画は。

A 単独柱の建て替えからスタートし、LED灯への切り替え作業は10月位から順次実施。年度内には全ての作業を終了させた

Q 移動困難な高齢者の医療機関への福祉有料輸送での通院は村内外とも可能か。

A 福祉有料輸送は2業者、村内外各1業者が営業し、登録者は5名いる。村外の医療機関へも輸送している。

Q 営業範囲や料金については、福祉輸送運営協議会で検討している。

Q 重度心身障がい者・障がい児にはタクシー利用助成があるが、高齢者はどうなっているか。

A 高齢者でも条件が満たせば助成に該当する。

Q その他、「個人情報の収集及び取り扱い」について質問した。

Q 現在、区が行なっている「修繕箇所の情報収集・依頼・費用の支払い」の新年度からの取り扱いは。

A 不点灯等の不具合の情報は、各区から村へ連絡していただき、村で修繕の手配や支払いを行なっていく。

Q LED化完了後の防犯灯新設・移動・撤去等の地域要望が発生した時の手法は。

A 従来通り「地域づくり実施計画書」の提出により、村内全体の状況を加味した中で、必要に応じ各区や防犯協会での検討の上対応したい。

なお、今回「防犯灯管理台帳」を整備し、迅速な対応と効率化を図る。



## 山形村の将来にとって 最重要課題は

百瀬 章議員

**村長** 人口減少・少子高齢化への対応と地域力・村民力を高めること

**Q** 村民が主役の村づくりの現状は。

**A** 昔からあった自治組織である常会に、行政の末端組織である連絡班を重ねているので、小さい連絡班では役回りが大変になってきている。連絡班の統合を含め検討委員会での協議や村民との意見交換会などで、引き続き検討・研究していく。



## 今年の松くい虫 被害発生状況は

竹野入恒夫議員

**村長** 今年度は20本の松枯れを確認

**Q** 山形村での松くい虫被害発生は、平成何年からか。

**A** 平成27年の夏に9本確認した。

**Q** 現在までの発生状況は。

**A** 平成30年度末までに23本の被害木を確認した。今年に入り職員による現場確認や住民からの情報提供により、20本の松枯れが確認された。

**Q** 自立財政の確保、効率的な財政運営は。

**A** 公共施設整備基金の残高は、本年5月末で9億4千万円となっている。

今後、施設の老朽化対策やインフラ資産の整備のため必要な備えをしていく。

その他、「村長

の選挙公報に記載された、7つの約束する事項の進捗状況は」について質問した。



6/21山形小学校音楽会

例年に比べると松枯れの発生が多いので、今後も注視していく。

**Q** これまでの駆除は、どのような方法か。

**A** 私有林や庭木の被害木は、所有者に伐採を依頼し、費用に対しては補助を行なってきた。山林では隣接する立木にも被害が拡大し、同じ場所でも繰り返し発生する傾向がある。所有者の負担が大きくなることから、今年度から長野県森林づくり推進支援金を活用し、被害拡大の抑制を図り、村が伐倒駆除を実施していく。

その他、「県営畑地総合土地改良事業」について質問した。



## 一人暮らし・高齢者家庭 への取り組みは

大池俊子議員

**村長** 地域社会全体で見守る体制を研究予定

**Q** 日本では核家族化が進み、世界一の高齢化社会を迎える中、山形村の高齢化率は27.8%となっている。

**A** 平成27年度の一人暮らしは198世帯、高齢夫婦のみは314世帯と増加傾向にある中で、一人暮らしで倒れるケースが起きている。村の取り組みは。

**A** 保健福祉課職員や民生児童委員の訪問、あんしん電話などでサポートしている。

また、サービス提供事業者とも連携を取りながら対応している。さらに、社会全体で見守る体制を研究していく予定。

**Q** 滋賀県野洲市のように「くらし支え合い条例」を制定してはどうか。

**A** この条例は、消費生活の安全と生活困窮者支援をセットにした日本では初めてのものである。地域の中で孤立せず、支え合いながら安心生活が送れる地域共生社会が必要である。そのためには、支え合いの促進、複合的な課題を抱えた世帯を支援する体制づくりなどが必要である。

その他、「子どもの予防接種への補助を」などについて質問した。



### 堂ヶ入ダムの現状は

小林幸司議員

村長 平成9年10月に建設した砂防ダムで今は健全である

Q 点検などは行なっているか。

A 所管の松本建設事務所は平成25年に目視によるダムの点検を行なっている。損傷などはなく健全な状態であった。また、大雨の際には村担当者が水量などの点検を行なっている。

Q ハザードマップには堂ヶ入ダムの決壊を想定しているか。



### 県道新田松本線のバイパス計画は

福澤倫治議員

村長 大至急、検討しなければいけない課題である

Q 県道新田松本線周辺の居住者が、特に近年、夜中に大型車両が通行し、地震のように家が揺れ眠れないということから、バイパスなどの対策は。

A この問題は長年にわたり県に要望している。

A 山形村の将来像を示し、大至急検討しなければいけない課題である。

A 堂ヶ入ダムの決壊による土砂被害は想定していないが、堂ヶ入ダム南側の「雨越え沢」からの土砂流出を想定した土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域と定めている。



堂ヶ入ダムの様子

Q 新たな第2ダム建設の予定は。

A 今のところは計画していない

が、将来的には考えられる。

Q その他、「東原地籍の村道18号線整備は」について質問した。

Q 山形保育園とやまのこ保育園の違いは。

A どちらも認可保育園で、山形保育園は山形村立、やまのこ保育園は社会福祉法人やまの子会が運営する私立保育園である。

Q 私立保育園の補助制度はあるか。

A 新築、増改築の場合は、国が2分の1、村が4分の1、事業者が4分の1の負担割合になっている。

Q やまのこ保育園児も山形村の子どもである。エアコンの設置経費は村で負担できないか。

A やまのこ保育園から相談があれば、検討する。

## 議会常任委員会だより

### 総務産業常任委員会

4月24日 現地視察  
県営土地改良事業大池原  
東原排水対策工事



5月20日  
自主防災活動の  
勉強会

### 福祉文教常任委員会

4月19日 現地視察 山形保育園と  
やまのこ保育園で園長先生と懇談

5月30日

山形村の保健事業の勉強会



活動中です それぞれの現場より

# 頑張れ。。。。地域づくり協力隊の皆さん



情報発信

ばん の たけ と  
坂 野 岳 人

SNSとホームページで山形村を発信しています。これからは、いろいろなものに活用できるコミュニティスペースを創りたいと思います。

そば集落の活性化とそば職人

み さわ まな  
見 澤 愛



そば職人を目指しています。村内のそば屋で修行中です。プロを目指し、さらに修行を重ねます。



地域を生かした観光

あな ざわ まさ み  
穴 澤 雅 美

野菜作りと農産加工品の試作をやっていきます。農業と山形村の暮らしを、観光に繋がたいと思っています。

子育て支援

おお の かず み  
大 野 和 美



地域の子育て支援をしています。山形村の自然を活かし、家庭的な小規模保育をしていきたいと思っています。

# 私の一言



北村 きたむら

陽 たかし

(上大池)

## 田畑と共に

大阪から山形村へ来て10年。

何も解らなかつた私ですが、先輩農家の方々の指導のもと、農業に携わってこられました。

今年の春には新規就農者として独立することもできました。まだスタート地点に立ったばかりですが、今の自分があるのは応援下さった人達がいたからだと思いつつ、畑と向き合う日々です。

家族を持ち、子育てについて考えた際、悲しい事件が多い中、村にある日常の風景が尊いものと感じます。出先で子供に笑顔で声をかけてくれる知人がいる温かい環境にはホッとします。

アルプスを背に綺麗に耕された田畑の風景、そこに育まれてきた人の輪を守っていかねければと思います。また行政には、私のように就農・永住したい人を支援する施策を所望します。



大森 貴子 おもり たかこ

(小坂)

## 誰もが安心して暮らせる村に

### 暮らせる村に

私が山形村に転入することが決まった数十年前、ある病院の職員の方に「山形村は福祉について、柔軟に対応してもらえるから、子育てには最高だよ、穴場だよ。」と言われました。

実際に移り住んでみて、たくさんの方に助けていただいたので、困ることはありませんでした。

そんな私が現在、山形村で福祉の仕事をしています。

仕事をしている高齢者の皆さんは働き者だと感じています。70代・80代あたりまえに、家族の先頭きつての畑仕事、その働きっぷりには頭が下がります。

最後になります  
が、要望を一つ。買い物をしたり、おいしい食事をしたり、観光できる場所が欲しい。なんていいと思います。

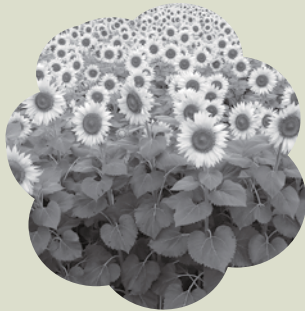


## 旬の味

新元号「令和」新たな時代の幕開けです。令和は万葉集の「初春の令月にして気淑く風和ぎ…」から引用されたことばです。

安倍首相は新元号について、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められている」と説明していました。

平成から令和に時代が変わりました。両時代の「平」「和」の文字を取り、ほんとうに争いや災害の無い時代になつてほしいものです。



小林 幸司



## 編集後記

6月議会も終わり、あつい夏もすぐそこに。小学校のエアコン工事も始まっているが、完了は夏休み明けになりそう。保育園も、一番利用したい夏が終わってしまふ。

今年の10月からは消費税が10%となる。

人間が生まれてから死ぬまで続けられる経済活動に対して税金をかけることは、国民の「生存権」を脅かす。

課題は山積の国会だが、地方議員としてしっかり考え、判断をしていきたい。

大池 俊子

### 発行責任者

議長 三澤 一男

### 議会広報編集特別委員会

委員長 百瀬 昇一

副委員長 小出 敏裕

委員 大池 俊子

委員 竹野入恒夫

委員 百瀬 章

委員 三澤 一男